

# 熊野高等学校

実施日時	1 令和3年11月 5日（金） 2 令和3年11月21日（日）午前 3 令和3年11月21日（日）午後				
参加者		生徒	教職員	その他	合計
	1	606名（高1・2・3・専1）	74名	0名	680名
	2	638名（高1・2・3・専1・専2）	74名	230名	942名
	3	567名（高1・2・3）	74名	0名	641名
実施内容	1 シェイクアウト訓練 2 地震・火災避難訓練他（上富田町合同） 3 防災トレーニング				

## 概要

### 1 シェイクアウト訓練

11月5日の世界津波の日に実施。『「災害の記憶」と未来に伝える』を配布し、各担任から説明。自動受信緊急地震速報による警告後、校内放送で地震発生を通告。各教室ではシェイクアウト訓練として『低く』『頭を守り』『動かない』姿勢をとらせた。

### 2 熊野高校・上富田町合同防災訓練

上富田町役場・田辺消防署上富田分署・自衛隊と連携して2年ぶりに開催された合同防災訓練。グラウンドへの避難訓練後、消防隊による放水訓練の見学、体験訓練として消火器や防災資機材の取り扱い・煙体験・担架搬送法・ロープワークなどがおこなわれた。体育館では避難所開設訓練として、パーティションの組み立てや展示などが行われた。本校生徒から、『災害時における応急手当』『AEDシート』についての発表が行われた。



### 3 防災トレーニング

午前の防災訓練に引き続き、午後は熊野高校独自の防災トレーニングをおこなった。このトレーニングは、災害時に高校生として地域のために貢献するために知識や技術

を身につけることが大きな目的となっている。全校生徒を4つのグループに分けて、各ブースで事前に講習を受けた各クラブのキャプテンや部長から講習を受ける。ローテーションして4つの技術（応急処置法・簡易担架組み立て搬送・簡易トイレやスリッパの作成・車いすの介添え）習得を目指した。生徒たちだけでおこなう防災トレーニングはコミュニケーション力の向上にもつながった。

### 参加者感想

- ・2学期の考査中に少し大きな地震が起きたとき、素早く机の下に身を隠すことができました。毎年の避難訓練があるから自然に体が動いたと思います。近い将来もっと大きな地震が来ると予測されているので、今後も避難訓練や防災トレーニングを欠かさず大切にしていきたいと思います。（高2女子）
- ・合同防災訓練では、地域のお年寄りと一緒に避難し、実際に災害が起きたら自分たちは、守られる存在ではなく、人の手助けをする立場にあるのだと実感できた。（高1男子）

### 成果と課題

#### 【成果】

本校は上富田町唯一の高校で、上富田町と町づくり地域連携協定を結び、地域の方々と積極的な交流を行っている。昨年はコロナ禍にあってできなかった上富田町との合同防災訓練も感染対策をしっかりとしたうえで、開催することができた。熊野高校生と地域住民の防災意識の向上に大きな役割を果たすことができる有意義な訓練であった。

#### 【課題】

上富田町との合同防災訓練は、大きな問題も起こらずに無事に終了することができた。地域と学校が一体となった訓練は、実際の災害時を想定する貴重な機会であったが、コロナ禍での大人数による訓練ということで、事前に関係機関との打合せや校内の調整に時間を要した。午後の防災トレーニングでは生徒の主体的な取り組みによって、互いに防災への知識や技術を高め合う場面が多くみられ、充実した時間となった。毎年実施していきたい行事はあるが、内容について生徒達が集中して取り組んでいけるように新たな工夫を続けていく必要がある。